

平成25年4月30日

各位

株式会社 徳 ・ 株式会社傳六
ノリックス株式会社 ・ 有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

今月も3月と同様にどの店舗も前年よりも売り上げ、来客数を伸ばすことが出来ましたことスタッフの皆様の頑張りに対し感謝申し上げます。

アベノミクスにより世間の景気感は少しは良くなってきていると界限で言われておりますが、消費者の実感としてはあまりないと感じている方が多いと思います。確実に言えるのは、過去のように何でも作ったら売れるという時代は二度とは来ないということです。今のお客様は自分の生活が豊かに、または便利になるものしか買いません。お客様の欲しい商品が買える価格になっているか、私たちはそのことに注力をして商品を作っていかなければなりません。

4月16日に東大阪にて「満腹のりちゃん」を新規事業としてオープンいたしました。お店のスタッフのみならず本社営業社員も3日間つきっきりで製造や接客に汗を流しました。出来立ての200グラムの大きなトンカツや山盛りの焼き肉、唐揚げの入ったお弁当を480円で販売しています。「もっとお客様に喜んでもらいたい」という気持ちをこめて、皆でお客様をお迎えしたオープンでした。今後も新入社員の荒木将文店長を中心に、もっとお客さまのありがとうを集めることが出来る店作りをしていきます。目標として3年以内に東大阪地区を中心に11店舗の開設を目指します。小さなお店ですがたくさんの店舗展開を目指していきます。企業規模についてよく言われることですが、イトーヨーカ堂もイオンもマクドナルドもすかいらーくも創業当時は零細企業でした。零細企業、言いかえれば企業規模が小さいのは客数が小さいため、客数が小さいのはその企業の世の中への貢献度が低いことを意味します。私は経営者として自分の会社が零細企業であったことを恥じる必要はないと思っていますが、今後も中小企業であり続けるということは世の中に貢献しない企業であり、貢献しない人生を送っているだけとして大いに恥じなければならぬ事由と思っています。世の中に対する貢献度が高まれば、事業は必ず「小」から「中」、「大」になれます。将来にわたるビジョンを立て、目標を作り実行に移すこと。そのための経営理念（何のためにこの会社があるのか、何のために私たちはこの会社で働くのか）の明確化と共有化をはかること。最も大切な製品（商品）戦略の策定とそれを実行すること。組織の活性化と財務管理。これらの項目と別に最も大切なことは**すべてお客の目線で考え、すべての意思決定を行うこと**。以上のことを考えながら今後もこの会社の舵取りをつとめます。

【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に**新たな価値**を創造しつづけます。」

【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々